

科目名	施設見学 4							年度	2026
英語科目名	Visit to institution 4							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大、有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

様々な施設を訪問し社会人としての見聞を広めます。

【科目の概要】

社会人として身につけるべきマナーを学び、他業種への理解を深め、また自らが将来活躍する現場の見学と関係者との面談が主たる内容となります。

【到達目標】

医療現場等で柔道整復師に必要な事を学びます。3年間学んだ知識を活かし、現場で役立つための力を伸ばします。患者に対する様々な対応を考えられるようになることが目標である。

【授業の注意点】

この授業では、医療人としてのキャリア形成の観点から、演習見学中の私語や態度ならびに服装などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提としたマナーで見学に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の履修ができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	催事の運営準備について完全に理解している。	催事の運営準備について大体理解している。	催事の運営準備について部分的に理解している。	催事の運営準備についての理解がやや不足している。	催事の運営準備について理解していない。
到達目標 B	催事における来場者への接遇について完全に理解している。	催事における来場者への接遇について大体理解している。	催事における来場者への接遇について部分的に理解している。	催事における来場者への接遇についての理解がやや不足している。	催事における来場者への接遇について理解していない。
到達目標 C	催事における来場者への誘導について完全に理解している。	催事における来場者への誘導について大体理解している。	催事における来場者への誘導について部分的に理解している。	催事における来場者への誘導についての理解がやや不足している。	催事における来場者への誘導について理解していない。
到達目標 D	催事における来場者への案内について完全に理解している。	催事における来場者への案内について大体理解している。	催事における来場者への案内について部分的に理解している。	催事における来場者への案内についての理解がやや不足している。	催事における来場者への案内について理解していない。
到達目標 E	人体の構造と機能について完全に理解している。	人体の構造と機能について大体理解している。	人体の構造と機能について部分的に理解している。	人体の構造と機能についての理解がやや不足している。	人体の構造と機能について理解していない。

【教科書】

無し

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

出席状況や見学態度と課題提出を総合的に評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

